

スチームアイロン

アクアスピード 5336

(製品番号 : FV5336J0)



1800123603 - 21/11

目次

安全上のご注意	1
各部の名前とはたらき	3
●本体パネル表示 ●スチーム調整レバー	4
●絵表示の見かたと温度の関係	5
ご使用前に・・・	6
ご使用方法	7
●イージーコードシステム ●水の入れ方	7
●スチームのご使用前に	8
●スチームアイロンとして使うには ●ジェットスチームを使うには	9
●バーチカルスチームを使うには ●ドライアイロンとして使うには	10
●ワンタッチスプレー(霧吹き)を使うには	11
●使い終わったら	12
お手入れ方法	13
●本体 ●かけ面 ●セルフクリーニング	13
●水あか防止バルブのクリーニング	15
故障かなと思ったら	16

このたびは、ティファール スチームアイロンをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

また、本書はいつでも見られる場所に保管してください。

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、ご使用になる皆様や周りの方への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。



警告

誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。



注意

誤った取り扱いをしたときに、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容。

各注意事項には、「注意」「禁止」「強制または指示」を促す絵表示（記号）がついています。



発火注意



強制または指示



分解禁止



禁止行為



感電注意



電源プラグをコンセントから抜く

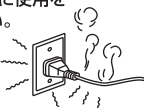
警告



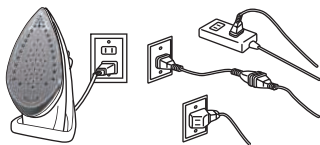
電源は、一般家庭用100V、50/60Hzを使用してください。



使用中、電源プラグ／電源コードが異常に熱くなるときは、直ちに使用を中止してください。
ショートや発火する恐れがあります。



- アイロンは、単独で使用してください。
- 2口コンセントの場合は片方の差込み口を開けたままで使用してください。
- 延長コードを使用される際は、定格15Aのものに単独で使用してください。
コンセントや電気コードが発熱し、発火することがあります。



修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
発火したり、異常作動してけがをすることがあります。



子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使用しないでください。
やけど・感電・けがをすることがあります。



濡れた手で、電源プラグの抜き差しをしないでください。
感電の恐れがあります。

⚠ 注意



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
感電・ショート・発火の原因になります。



電源コードを差した状態で、アイロン本体から離れないようにしてください。



電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
感電・ショート・発火の原因になります。



電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
損傷したコードの修理は弊社お客様相談センターにご連絡ください。



熱いアイロンにコードを巻き付けしないでください。
ショート・発火の原因になります。



本体を水につけたり、水をかけたりしないでください。



ジェットスチームトリガーを連続して速く押さないでください。
湯滴漏れによるやけどの原因になります。



使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。
けが・やけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。



給排水時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電の原因になります。



高温になる部分(かけ面など)に触れないでください。
やけどの原因になります。

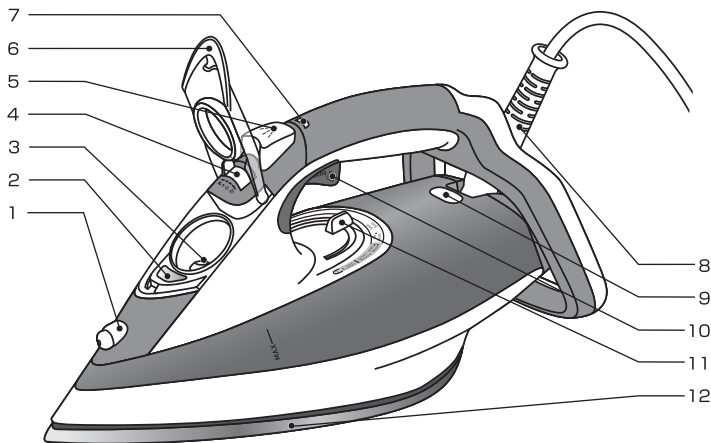


熱いスチームに触れないでください。やけどの原因になります。

※この製品は一般家庭用です。通常のご使用以外の目的に使用したり、業務用として使用するのをおやめください。

※自分の体や生き物にスチームを使用しないでください。また、アイロン台によっては、透過したスチームや湯滴でやけどの原因になります。十分気をつけてください。

各部の名前とはたらき



1. ワンタッチスプレーノズル
2. 水あか防止バルブ取り外しスイッチ
3. 水あか防止バルブ
4. スチーム調整レバー
5. ワンタッチスプレー(霧吹きボタン)
6. 注水口カバー
7. 自動停止安全ランプ

8. イージーコードシステム
9. サーモスタットランプ
10. ジェットスチームトリガー
11. 温度設定レバー
12. かけ面

カルキ防止

アイロン内部にカルキ防止カートリッジが内蔵されています。このカートリッジの働きで、カルキをアイロン内部にたまりづらくし、アイロンの持ちをよくなります。カートリッジは交換不要です。



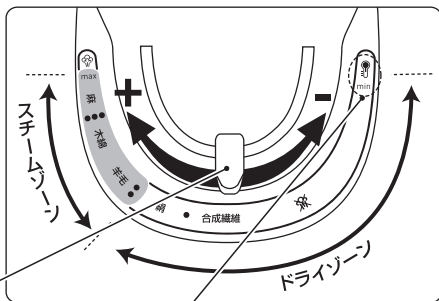
●本体パネル表示

かけ面の温度を設定します。

スチームゾーン
この間でスチームを使用できます。

ドライゾーン
この間ではドライでご使用ください。

温度設定レバー
温度設定レバーの先を繊維の種類に合わせます。



かけ面は熱くありませんが、「min」でも通電しているので、使用時以外は電源プラグを抜いてください。

●スチーム調整レバー

スチーム量を調整します。

ドライ

スチーム(低)

スチーム(中)

スチーム(高)

スチーム調整レバー



温度設定がドライゾーン(合成繊維・絹)の場合は、ドライにセットして使用してください。水漏れ、湯滴漏れの原因になります。

ご使用の前に・・・

- 初めてアイロンをご使用になる際、かけ面と本体の間から白っぽい煙が出て多少臭いがありますが、異常ではありません。

製造工程中に使われる樹脂に含まれている水分が熱を受けて蒸気となって出てくるため、煙と臭いが発生するものです。

この煙は無害で、また数回ご使用いただくと出なくなります。

- 初めてアイロンをご使用になる際、ごくまれにスチーム孔から白い粉が出てくる場合がありますが、異常ではありません。

アイロン内蒸気発生タンクには、セラミックの表面加工が施されています。この表面加工の微量の粉がタンク内に残ってしまっているためです。初期のご使用の際には10回ほどジェットスチームトリガーを押してからご使用ください。

気になる場合は、セルフクリーニング(13ページ)を実施してください。

- スチームアイロンには、水道水をご使用ください。

軟化水、解凍水、ミネラルウォーター、香水などを加えた水などはご使用にならないでください。

アイロンのスチーム孔が詰まったり、布地のシミの原因となります。

- 初めてアイロンをご使用になる際、また長期間スチームをご使用にならなかった際、まれにスチームが出るまで時間がかかる場合があります。

その場合は、8ページの「スチームのご使用前に」を参照していただき、通常より多めにジェットスチームトリガーを10~15回程度出し続けると、スムーズに噴射されるようになり、それ以降は問題なくご使用いただけます。

- のりづけやスプレーは、必ずあて布をしてアイロンをかけてください。

のりづけ(スプレーのりも含む)、柔軟剤のすすぎ残り、すべりを良くするスプレーなどはかけ面の汚れ(こげつき)だけでなく、大切な布地の汚れにもつながります。

そのような場合は必ずあて布をしてアイロンをかけてください。

- 温度設定は正確にしてください。

5ページの「絵表示の見かたと温度の関係」を参照して、必ず繊維に合った温度設定をしてください。

複数の繊維が混じている場合は、最も熱に弱い繊維に温度をセットしてください。正しい温度設定をしないとかけ面の汚れ(こげつき)や衣類を傷める原因になります。

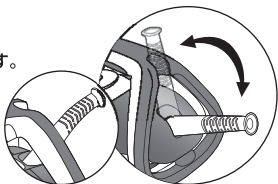
- 使用中、使用後、アイロン内部から金属音がありますが、異常ではありません。

アイロン内部にある水漏れ防止用のバイメタル(金属)が、かけ面の温度変化によって機能することにより発生するものです。

ご使用方法

● イージーコードシステム

イージーコードシステムは、アイロン本体からコードを遠ざけることにより、手元の衣類とコードのからみを軽減するシステムです。



● 水の入れ方

スチームやワンタッチスプレー（霧吹き）を使う場合は、水タンクに水を入れます。

① 電源プラグがコンセントに接続していないことを確認します。

② スチーム調整レバーを「霧」に合わせます。

※「霧」に合わせないと、ご使用中の水漏れ、湯滴漏れの原因になることがあります。

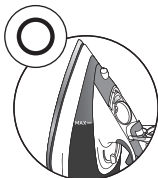
③ アイロンを持ち上げます。

④ 注水口カバーを持ち上げます。

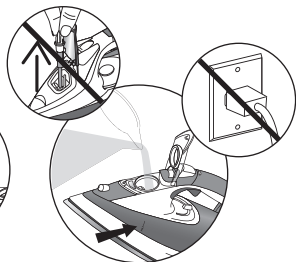
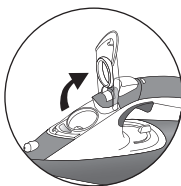
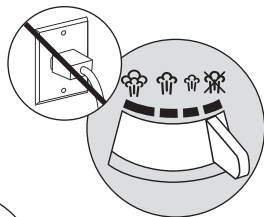
⑤ 水タンクのMAXマークまで水を入れます。

※水あか防止バルブがセットされている事を必ず確認してください。

※電源プラグ、コード、本体に水がかからないようにご注意ください。



⑥ 注水口カバーをしっかりと閉めます。



●バーチカルスチームを使うには ●●●●●●●●●●●●●●●●

衣類をハンガーにかけたままシワを取ったり、カーテンのシワを取りたいときに使います。

注意 ①

●衣類を身につけたまま、アイロンやスチームをかけないでください。やけどの原因になります。

お願い

●熱に弱い繊維が焦げるのを防ぐためアイロンを衣類から数センチ離してください。

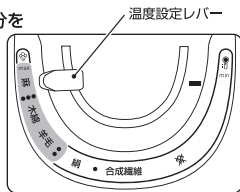
- ① 衣類をハンガーにかけて、布地のシワ取りをしたい部分を片手でピンと引っ張ります。

- ② 温度設定レバーを「麻」にセットします。

- ③ ジェットスチームトリガーを繰り返し押しながら、アイロンを上から下に移動させます。
連続使用するときは少なくとも4秒間あけてください。

※バーチカルスチーム量が減ってきたら、一度アイロンを水平にし、再度バーチカルスチームを使用してください。

※サーモスタートランプが点灯したら、消えるまで待つてから使用してください。



ジェットスチームトリガー



●ドライアイロンとして使うには ●●●●●●●●●●●●●●●●

- ① スチーム調整レバーを「霧」にセットします。

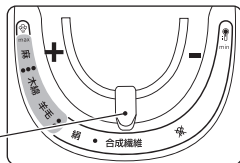
- ② 電源プラグをコンセントに差し込みます。

- ③ 繊維の種類に合わせて、温度設定レバーをセットします。
(5ページの「温度設定目安表」を参照してください。)

- ④ サーモスタートランプが消えたら準備完了です。



温度設定レバー



※ドライアイロンとして使用していても、温度設定が「麻」「木綿」「羊毛」であれば一度にたくさんのスチームを出すジェットスチーム(9ページ)やバーチカルスチーム(10ページ)が使用できます。

●ワンタッチスプレー（霧吹き）を使うには ●●●●●●●●●●

注意!

●絹にはスプレーしないでください。布地を傷めることがあります。

ワンタッチスプレーボタンを押すと、ワンタッチスプレーノズルから霧状に水が出ます。スチームまたはドライで使用していても、水タンクに水が入っていれば使えます。



自動停止安全ランプ

プラグをコンセントに差し込んだまま、立てた状態で8分以上、かけ面を下にしたまま、またはアイロンを横倒しにしたまま30秒以上放置しておくと、自動的に電源が切れ、自動停止安全ランプが点滅します。アイロンを再起動させるには、ランプが点滅しなくなるまでアイロンを揺すってください。自動停止安全ランプが点滅している間は、サーモスタットランプはオフになります。



水あか防止バルブとカルキ除去

水あか防止バルブと水タンクに内蔵されたアンチカルクプラスの働きで、いつでもタンク内の水をきれいに保ち、上質のスチームを実現します。

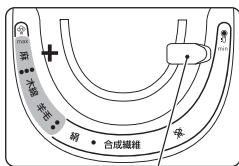


●使い終わったら

お願い

●水を入れたまま保管すると、水漏れの原因になることがありますので、必ず水タンクの水を捨ててから保管してください。

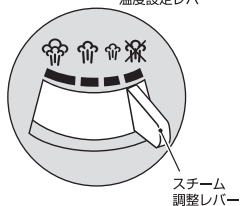
① 温度設定レバーを「min」にセットして、スチーム調整レバーを「霧」にセットします。



温度設定レバー

② アイロンの電源プラグを抜き、かけ面が冷めるのを待ちます。

③ 流しの中で水タンクの水を捨てます。



④ 電源コードをアイロンの下部に巻きつけ、電源コードクリップで留めます。必ず立てた状態で保管してください。

※タンクの構造上、完全に水を抜く事は出来ませんが、少量の水の残留は使用上、保管上問題ありません。



注意 ❶

- スチーム調整レバーを「霧」にセットしなかったり、かけ面が冷める前に水を抜こうとすると、湯滴漏れの原因になりますのでご注意ください。
- アイロンは冷めてから、立てた状態で保管してください。

お手入れ方法

注意!

- 水道水で急にアイロンを洗わないでください。

お願い

- アイロンの電源プラグを抜いて冷めるのを待って、お手入れしてください。
- 研磨剤やシンナー、ベンジンは使用しないでください。

●本体

やわらかい布で拭いてください。

がんな汚れにはぬらした布に中性洗剤を含ませてこすり、拭き取ってください。

●かけ面

汚れが付いたときはすぐに取りってください。

そのまま放置すると、汚れが取りにくくなり布地を汚す恐れがあります。

また、汚れが付いていると、かけ面のすべりを悪くします。

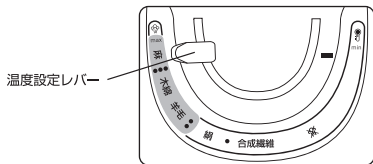
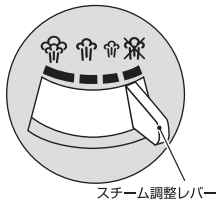
かけ面は、ぬるま湯を含ませたナイロンスポンジで定期的に掃除してください。

頑固な汚れには、アイロンが冷めてから、よく濡らしたタオルの上にかけて面を下にして1時間程度置き、汚れをふやかします。その後、かたく絞った布でよく拭き取ってください。それでも汚れが取れない場合は、水を含ませたナイロンスポンジでこすってください。

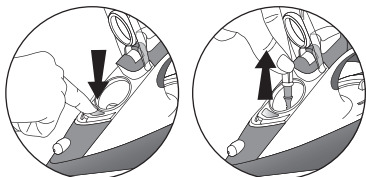
●セルフクリーニング

アイロン内部にたまった汚れを取り除くため、セルフクリーニングを行ってください。
(使用する水質や、使用頻度にもよりますが、1ヶ月に1回の目安で行ってください。)
スチーム穴の目詰まり防止に効果的です。

- ① スチーム調整レバーを「霧」にセットします。
- ② 水タンクのmaxマークまで水を注ぎます。
(7ページの「水の入れ方」を参照してください。)
- ③ 電源プラグをコンセントに差し込んで、温度設定レバーを「麻」にセットし、アイロンを立てた状態でサーモスタットランプが消えるまで待ちます。



- ④ アイロンの電源プラグを抜いて、流し台などの上で水平に持ち、水あか防止バルブを取り外します。
※この時、水あか防止バルブ本体は手で持たないようにしてください。



この状態で、アイロンを水平にし前後に振りながら、かけ面からお湯まじりの蒸気と汚れを排出させます。

※十分に汚れをとりたい場合は、もう1度繰り返します。

注意

- アイロン本体とかけ面の間から熱い蒸気やお湯が出ることがあります。十分にご注意ください。

- ⑤ 終わりましたら、水あか防止バルブを元の位置にセットします。



お願い

- 水あか防止バルブが完全にセットされていないと、アイロンは正しく作動せず、スチームが出ない、水漏れ、湯滴漏れなどの原因になります。お手入れの際は、忘れずにセットしてください。

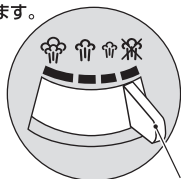
- ⑥ かけ面が冷めてから、やわらかい布でアイロンを拭きます。

●水あか防止バルブのクリーニング

水あか防止バルブを数ヶ月に1回の割合で掃除することで、いつも安定した最大限のスチーム効果が得られます。

① 電源プラグをコンセントから抜き、水タンクを空にします。

② スチーム調整レバーを「霧」にセットします。

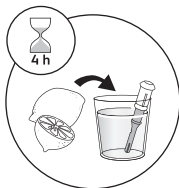


スチーム調整レバー

③ 流し台などの上でアイロンを水平に持ち、水あか防止バルブを取り外します。
※この時、水あか防止バルブ本体は手で持たないようにしてください。



④ バルブの先端を3~5倍に薄めた酢またはレモン汁に4時間程度浸します。



⑤ バルブの先端部分を水道水ですすぎ洗いし、本体に戻してしっかり固定します。

お願い

- 水あか防止バルブが完全にセットされていないと、アイロンは正しく作動せず、スチームが出ない、水漏れ、湯滴漏れなどの原因になります。お手入れの際は、忘れずにセットしてください。

故障かなと思ったら

状況	考えられる原因	対処方法
アイロンが熱くならない	●温度設定レバーの位置が正しくない。	●温度設定レバーを目的の繊維にセットしてください。
	●きちんと電源プラグが入っていない。	●電源プラグをきちんとコンセントに差し込んでください。
スチームが出ない または十分でない	●初めての使用。	●初めて使用する場合、スチームが出るまで時間がかかることがあります。(6ページ)
	●スチーム調整レバーがドライにセットされている。	●スチーム調整レバーをスチームにセットしてください。
	●温度設定がスチームゾーンになっていない。	●温度設定レバーをスチームゾーンにセットしてください。(5ページ)
	●水タンクが空である。	●水タンクに水を入れてください。
●スチーム穴がつまっている、または長時間ドライのみで使用した。	●水あか防止バルブを洗浄し、セルフクリーニングを行ってください。(13~15ページ)	
水タンクに水を入れ終わったら かけ面からスチームが出た	●スチーム調整レバーが「霧」に合っていない。	●注水時は必ずスチーム調整レバーを「霧」にセットしてください。
水が漏れる	●ジェットスチームトリガーの使用回数が多すぎる。	●ジェットスチームトリガーを連続使用する場合少なくとも4秒間あけてください。
	●温度設定レバーがドライゾーンにあるのに、ジェットスチームを使用した。	●ジェットスチームを使用するときは、温度設定レバーをスチームゾーンに合わせてください。
	●設定温度になる前にジェットスチームを使用した。	●サーモスタットランプが消えてからジェットスチームを使用してください。
	●水タンクに水を入れ過ぎた。	●水量は多くてもmaxマークまでにしてください。
	●水タンクを空にせず保管した。	●アイロンかけ後は12ページを参考にして、必ず水タンクを空にしてから、立てた状態で保管してください。
	●注水口のふたをしっかりと閉めていない。	●注水口のふたはしっかりと閉めてください。
スチーム穴から茶色の液体が漏れて、布地にシミができる	●不適切な水を使用した。	●セルフクリーニングを行い(13ページ)、6ページを参考にして水道水を入れてください。
	●スチーム穴、またはアイロンの本体とかけ面の間に繊維が堆積し、焦げついてしまっている。	●ナイロンスポンジなどで、かけ面の汚れを取り除いてください。
かけ面が汚れる あるいは茶色くなり、 布地にシミができる	●布地に洗剤のりが残っている。	●のりを使用する場合は、あて布をしてください。(6ページ) ●かけ面の汚れを取り除いてください。
	●設定温度が高すぎた。	●かけ面の汚れを取り除いてください。 ●5ページの「温度設定目安表」を参照してください。
かけ面にキズがついた	●アイロンを立てずに金属製または凹凸のある台の上に放置しておいた。	●アイロンは立てた状態で保管してください。かけ面のキズがひどい場合は、弊社のお客様相談センターにご連絡ください。

※修理の依頼は弊社お客様相談センターにご連絡ください。
 なお、補修用品の供給期間は製造打ち切り後5年間です。

